



59 KAWA-ORIGAMI

ORIGAMIの名の通り、1枚の革を折り曲げ、最小限の縫製を加えるのみ。余分をそぎ落とす和の様式美、裏地へのこだわり、紙帯を大切にしている日本の心も表現。精緻な技と斬新なデザインに海外市場からも熱い視線が集まる。

[株式会社二宮五郎商店]



60 しじみ

銀工房wanlingの竹崎さんは身のまわりの小さな自然をジュエリーにしている。浮世絵にも多い隅田川の「しじみ」をモチーフに形や模様を繊細に表現。身近なものに潜む意外な美しさが、ジュエリーを通して心にしみこむ。

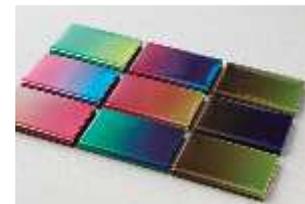
[銀工房wanling (ワンリン)]



61 寿盃 松竹梅

父・輝雄さんを師とする山田真照さんは、古典的な絵柄を新しい感性で削り上げる三代目切子職人。透明な硝子に花鳥風月を描く伝統的な切子技法「花切子」で、昔から祝いに使われる松竹梅を洗練された寿盃に仕立てた。

[玻璃匠 山田硝子]



68 ornament Card Case

繊細なグラデーションにはっとする。ふわりと自動で開くフタに驚く。世界最高レベルのプラスチック成形技術がプリンモードにより実現した色と質感がビジネスを美しく彩り、持つ人の個性をスタイリッシュに印象づける。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2013開発商品
[吉田テクノワークス株式会社]



すみだギャラリー 3

向島の染工場

隅田川沿いには多くの染工場があった。



すみだギャラリー 4

工場の町

最盛期、墨田には1万軒近くの工場があったという。



62 ガラスの硯

代表の尾崎さんは、板ガラスならではの美しい製品を自在に創作する硝子職人。ガラスの硯は、厚みのある板ガラスを硯に生まれ変わらせた。丘（墨をする部分）と海（墨を溜める部分）のなだらかな曲線に熟練の技が見える。

[尾崎硝子株式会社]



63 無垢鋏 (MUKU) シリーズ

医療現場で求められる切れ味、粘着テープが刃につかないコーティング、無駄なものをそぎ落としたデザイン。医療用鋏をつくる職人がデザイナーと出会い、切れ味の鋭い、使いやすい、そして美しい、三位一体の鋏が誕生した。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2011開発商品
[石宏製作所]



64 ● 典型 自転車止め

打放しコンクリートでシンプルを極めたデザイン。個人宅、店舗、病院、体育館などさまざまな場所で、すみだの製品が駐輪場の風景をスタイリッシュに変えている。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2009開発商品
[柴田コンクリート株式会社]



69 ウォッシュャブル レザーシリーズ

墨田区は、量も質も日本一の皮革の生産地だ。「ウォッシュャブルレザー」は先進性でも傑出している。中性洗剤で洗えるという高機能を持ちながら、シルキーでナチュラルな色と質感。デニムのように洗うたびに風合いの変化を楽しめ、しかも軽い。

[トウキョウレザーファクトリー]



70 防災・防犯用ホィッスル

精密加工部品を製造する会社が、その技術を活かし国内で最小サイズの防災用ホィッスルを製造。人気の秘密は壊れにくい真鍮製。1点ずつ音出し検査を行うという品質へのこだわりにも、メイドインすみだの誇りが見える。

[墨田硝子産業株式会社]



71 おゆまる

お湯で温めて、簡単にプラスチック小物がつくれる。ねんど。球状に丸めればスーパーボールのように弾む。1988年、子どものおもちゃとして誕生したが、今では大人たちもアクセサリーやフィギュアの手づくりにも夢中になっている。

[ヒノアワジ株式会社]



65 kaico

大きな開口部や木のつまみ。洗練の中に使い心地の工夫が詰まっているキッチンウェアシリーズ。金型を製作する金属加工会社だからこそ、機能やフォルムを追求する。デザイナーの斬新な提案にも応えることができたという。

[昌栄工業株式会社]



66 merippa

洗濯機で洗えるから清潔。軽くて丸められるから、どこにでも持って行ける。老舗メリヤス工場が初めて手がけた自社ブランドメリッパ。やさしい肌触りと表裏両面を楽しめるかわいらしいデザインが人気でリピーターも多い。

[中興美大小株式会社]



67 IKIJIシャツ

IKIJIは墨田区内を中心とする製造業者が共同運営するメンズブランド。山東京伝や北斎らが描いた江戸の粋を今にデザインする。フィレンツェの展示会にも出展。高い技術力と遊び心を凝めたアイテムに世界の注目が集まる。

[精巧株式会社]



72 黒ばら純椿油 ツバキオイルシリーズ

椿油は人の皮脂に近い「オレイン酸」をたっぷり含む天然保湿剤。髪はもちろん肌のお手入れにも昔から使われている。市場に出回る椿油は高温加熱されたものがほとんどだが、黒ばら本舗は肌にやさしい「生絞り製法」にこだわっている。

[株式会社黒ばら本舗]



73 おもてなしのプロが使う 無臭除菌スプレー

衛生管理が求められるホテルや介護施設などで採用されている除菌剤を家庭用に商品化した。主成分はウイルスも細菌も強力除去するPHMB。臭いや色落ちの心配がなく、コンタクトレンズの保存液にも採用されている安心安全な成分分だという。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2013開発商品
[株式会社社創研]



74 立つしやもじ

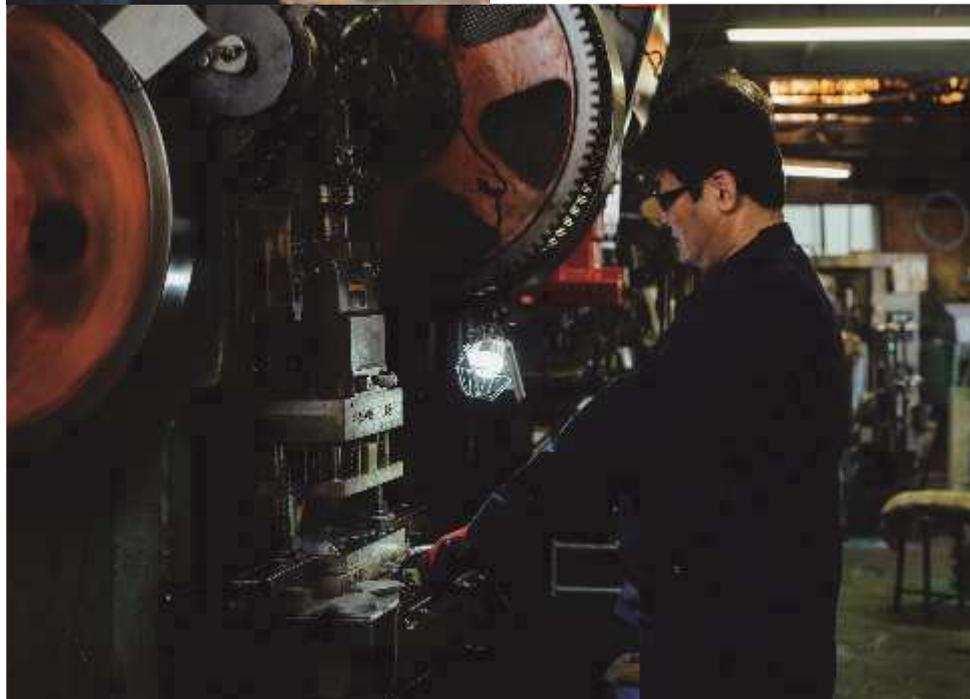
日本の食にかかせないしやもじを画期的に変えたヒット商品。置き場所に困るしやもじを自立させ、握りやすいグリップと飯粒をつぶさない歯面のへら面を備えた「立つしやもじ」。和食への注目が高まる中、ドイツIFデザイン賞など数々の国際賞も受賞。

[株式会社マーナ]



ものをつくる日々。

一見、普通の家だけれど小さな工場。
 すみだには、そんな家並みが続きます。
 先進の機械が並ぶ工場でも、大切にしているのは
 手と目と心による、ものづくり。
 屏風、漆、べつ甲、金属工芸、木工、足袋など
 代々続く工房も点在します。
 研鑽を積み、小さな差異にこだわり、
 完璧なもの、今までにないものを生み出していく。
 そういう日常はるか昔から繰り返されているのです。
 迷路のような路地をめぐり、
 職人の暮らすまちを訪ねてみるのも素敵です。



75 プタの落としぶた

調理の落とし蓋、レンジで温めるときの蓋、瓶の蓋
 を開けるオープナーと3通りに使える機能的な調理
 用品。鍋の中で鼻から湯気を吹き出すプタ。鼻に
 菜箸を入れて取り出されるプタ。使っていると思わず
 笑顔になってしまう。

【株式会社マーナ】



76 Animal Brush

ころんと手のひらにおさまる、馬、山羊、豚。イン
 テリアとしても愛らしい動物の形は、何の毛が使われ
 ているかをあらす。上質な天然毛は職人の手で
 丁寧に植えられている。丸い木型のフォームは握り
 やすく、毎日自然と手に取ってしまう。

【株式会社宇野刷毛ブラシ製作所】



77 Made in Ryogoku “まるあ柄”

創業100周年を期に生まれた東屋オリジナルの「ま
 るあ柄」。6代続く両国の地で、日本のものづくりを
 守るという想いをこめ、隅田川の水面の輝きをモチーフ
 にした。すっきりしたフォルムが特徴的な小銭入れ
 や財布は、ひとりの職人がすべての工程を受け持つ。
 【有明会社東屋】



78 TOKYO GA-MA

ガマガチという昭和のお母さんのイメージだが、
 実はワンクリックで開閉できる機能的な高い金具。
 それなら小銭入れだけでなくパソコンや書類ケース
 にも。「TOKYO GA-MA」は新しい革小物の
 スタイルとしてガマガチを未来に提案する。

【株式会社ヤクラワックス】



79 北斎プロジェクトTシャツ

「北斎プロジェクト」という名前に込められているの
 は、葛飾北斎への敬意。北斎ならTシャツをキャン
 バスにどんな作品を描くだろう。職人とデザイナーが、
 憧れの絵師に恥じない表現を追求し続けるプロ
 ジェクト。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2009開発商品
 【久米織造工業株式会社】



80 丸バッグ

ありそうでなかった丸いバッグ。国産めし
 のソフトな牛革をやさしい色合いに染め上げ、丁寧に
 縫い上げている。東京の地図をモチーフにした裏地
 もチャームリング。学生カバンメーカーとして出立
 した丸田片野製靴所の原点は、確かな製品づくりだ。
 墨田区ものづくりコラボレーション事業2014・2015開発商品
 【有明会社丸田片野製靴所】



81 some-zome -Tシャツ-

東京の染色技術の高さを表現したい。量産品で
 はできない、人間の手と感性でしかできない染め
 を。カゴメ柄、格子柄、丸柄、切り子柄、ぼかし柄。
 some-zomeには東京都繊維染色協同組合の
 染工場4社の高い技術が駆使されている。

【株式会社川合染工場】



82 スクリューポンチ

「スクリューポンチ」は、力もいらず音も出ない穴あけ
 工具。40年以上前に誕生、何のPRもしていない
 のに、今では世界各国で愛用されている。最近
 は類似品も出回っているが、1点ずつ手作業で刃を
 研ぐ本家本元は、切れ味が裏いとユーザーに高く
 評価されている。

【株式会社野中製作所】



83 ALMA -aroma pins-

どの角度から見ても美しい、ボタン型の小さなピンズ。
 中に香りを染みこませた練珠を入れることで、好きな
 香りを“装う”ことができる。ファッションアイテムの
 一部として、気軽に香りを付け替えるという新しい提案。
 墨田区ものづくりコラボレーション事業2015開発商品
 【株式会社石井精工】



84 職人が大切な人に贈った はさみ 携帯用・普段用

持ち運びに便利な携帯用はさみ。普段用はさみは2つにはずして気軽に洗える。はさみの職人が感謝の気持ちこめて妻につくったこの商品には、安心・便利さへのこだわりが凝縮されている。やさしい見た目ながら切れ味も抜群で、肉などを切るのにも使える。
 墨田区ものづくりコラボレーション事業2015開発商品
 [石宏製作所]



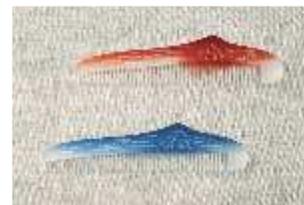
85 FACTORY ROBO

ロボットや深海探査艇など、新しいものづくりに挑戦する浜野製作所。みんなでひとつのものを囲んで、相談しながら組み立てる。この愛憎あふれるロボットには、これまで培った技術力と、ものづくりへの情熱がこめられている。
 墨田区ものづくりコラボレーション事業2016開発商品
 [株式会社浜野製作所]



86 ツリーピック TREE PICKS

木をかたどったステンレス製のフードピックは、並べて台座に立てるだけでも、なんとも言えないかわいらしさがある。枝を料理で彩る他、楊枝がわりに添えたり、アクセサリスタンドとしても。使う人によって表情を変える、新しいアイテムだ。
 墨田区ものづくりコラボレーション事業2014開発商品
 [合資会社笠原スプリング製作所]



93 Sumida Comb

道具にこだわる理美容師が認める、和色のくし。ヘアスタイリストと組み、最高の道具をつくろうと技術の粋をついた。丁寧に素材を削り、理想のフォルムを完成。複数の染料をかけ合わせ、北斎画のくすみある独特の色を再現した。
 [株式会社アヴァンセ]



94 北斎、江戸切子うすはりグラス

厚さ1mm以下、松箱硝子のうすはりグラスに絵を描けるのは、多様な江戸切子技法を操れる山田真照さんの腕がもたらした。すずめおどりと隅田川の様を合わせた「宴」、傘もつ人々の上に雨を降らせた「雨宿り」、どちらも北斎漫画がモチーフ。
 [玻璃匠 山田硝子]



95 葛飾北斎浮世絵パズル

70年の歴史を持つ紙器会社が技術を活かして考案した。開封前の商品はノート1冊ほどの大きさと薄さ。組み立てれば6種の北斎画パズルを楽しむ。完成まで30分ほどかかるパズルで遊びながら、6種の北斎画の構図を学べるのも魅力だ。
 [株式会社嶋田紙器製作所]



87 すみだデニム

クリエイターズは、メリヤスの産地という墨田区の歴史を背景にスウェット素材のデニムを提案する。追求したのは、見た目のデニムらしさ、動きやすさ、くずれ過ぎないフォルム。プロダンサーのアドバイスをを受け、ステッチやウエストラインに工夫を重ねた。
 [株式会社Creators]



88 歌舞伎®タオル

伝統美を舞台にあらわす歌舞伎。その衣裳製作を江戸中期から担う石山染交が、古典と現代を融合させたマフラー。タオル地を刷毛染めできるよう、生地も染料も細く開発。定式幕や、衝道帳などの演目目、肌ざわりのいい生地にもふわりと浮かぶ。
 [株式会社石山染交]



89 Jono Jono

墨田区の地場産業であるメリヤス素材で、ハットする商品提案を競けるオレンジキーヨー。Jono Jono はハンドメイドのためのメリヤスマン。糸が太いのでラジ、バッグなどの大物を短時間でつくることできる。
 [オレンジキーヨー株式会社]



96 ウエルカムソープ

引出物で使う和菓子の型から生まれた鯛の石鹸。遊び心あふれるデザインだが、原材料には徹底したこだわりがある。環境への影響に配慮した世界基準の植物ガムを使い、香りにも天然精油を配合。特別なギフトにもなり、視線を集めるオブジェにもなる石鹸。
 [玉の肌石鹸株式会社]



97 TAMANOHADA シリーズ

社名「玉の肌」をあらわしたまん丸いソープ。ノンシリコンの先駆けといわれる髪と地肌にやさしいシャンプー。香りのよさで愛されてきた歴史を深化させ、コンディショナーや液体ソープなどすべての商品に、天然精油配合の香りを6タイプずつ揃えている。
 [玉の肌石鹸株式会社]



90 北斎漫画吹き出し帳

どうも製本所の堂地さんは「北斎漫画」をはじめ見たとき、偉大な画家 葛飾北斎にぐっと親近感を抱いた。江戸の人々のユーモラスなげさや表情に何をしゃべっているのかな?と想像力をかき立てられ、この吹き出し付きメモ帳を思いついたという。
 [どうも製本所 紙工房 堂地堂]



91 クライミングマン

UFO パルーンやお散歩パルーンで市場に新風を起こしたエヌエーパルーンズ。クライミングマンは、金属のあるところならどこでも挑む風船人間。両手足にしおぼせた強力磁石で、軽量のものをホールドできる。こだわりは美しい筋肉。
 墨田区ものづくりコラボレーション事業2015開発商品
 [エヌエーパルーンズ株式会社]



92 WAYOU

WAYOUは台湾のデザイナーとのコラボレーションから生まれた。台湾でも日本でも夏の思い出の一端に眠る、かき氷のある風景をイメージして創作。3つ足にしおぼせた強力磁石で、軽量のものをホールドできる。こだわりは美しい筋肉。
 「台湾設計×日本精進」プロジェクト2016開発商品
 [廣田硝子株式会社]



98 BIG-マルチジッパーストラップ

アクセサリ-マルタカの発案でYKK株式会社と二人三脚で開発した20年来のロングセラー商品。ロコミでファンが広がってきたという。時代に合わせてデザインは少しずつ変えている。現在は社員監のストラップやネックレスとしてロングタイプも人気だ。
 [株式会社アクセサリ-マルタカ]



99 cupPot

台湾のコルクと日本のホーロー。どちらもかつて一時代を成した産業だ。互いの歴史と未来を結ぶという目標を立て、台湾のデザイナーとともに開発したcupPot。世界初の取っ手が無いハンドドリッパーポットに、コーヒーのプロからも熱い視線が注がれている。
 「台湾設計×日本精進」プロジェクト2017開発商品
 [昌栄工業株式会社]



すみだギャラリー 5

浮世絵「隅田川花見」(1800年代)
江戸時代から、隅田川沿いの地域(墨堤)は美しい桜の名所として有名だった。



すみだギャラリー 6

浮世絵「两国橋納涼図」(1800年代)
江戸時代、两国橋周辺の地域は、職人がいきいきと働く栄えた下町だった。



100 アラレカフェ

バジル、ペペロンチーニなど洋風テイストのお酒香なアラレ。スティック状の1本の中にいろいろな種類が入っていて、開けるたびに楽しくなる。コーヒーにもワインにも合うと、若い女性にも人気だ。

[株式会社東あられ本舗]



101 ハム・ソーセージ

素材にこだわり、手間と時間をたっぷりかけてつくり上げたハムやソーセージ。食品添加物は極力使わず、天然塩と香辛料で厳選した食肉の旨みを引きだしている。本場ドイツでも多数の賞を受賞した、国際的な名品。

[株式会社島原ハム]



102 北斎揚げ

醤油・醤油・和風カレー、3種の味の揚げあられ。すみだで生まれた江戸の天才画家、葛飾北斎の作品「富嶽三十六景」をパッケージに使用。北斎の絵が入った手ぬぐい・巾着入り商品もあり、海外への土産としても人気。

[株式会社東あられ本舗]



109 佃煮「若煮」シリーズ

カルシウム、ミネラル、タンパク質をたっぷり摂る。でも塩分はひかえめに。新時代の佃煮を求め、昭和の末に誕生した若煮シリーズ。試行錯誤を繰り返して生まれた味は、今も人を惹きつける。

[株式会社海老屋本舗]



110 東あられの海苔巻き

「濃い口醤油×有明焼海苔」など3種の国内産高級海苔と醤油の味くらべセット。ひとつひとつ丁寧に海苔を手巻きしている。100年の経験と創意工夫から生まれた、極上の味わい。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2011開発商品
[株式会社東あられ本舗]



111 生フルーツシャーベット

「キラキラ橋商店街」の老舗果物屋マチヤス。店主の町山さんは、市場にも動いていたフルーツのプロ。いちご、メロン、マンゴーなどの食べ頃を熟知している。味も香りも最高の瞬間をとらえて、熱を加えずに「生」のまま氷菓に閉じこめている。

[株式会社マチヤス]



103 隅田屋米

鹽・香り・甘さがすばらしい、極上の米。生産年の気候を考え最良の米を厳選。ワインにおける葡萄のように、毎年最高の素材を米のプロがブレンド、風味を活かす方法で精米している。

[株式会社隅田屋商店]



104 トーキョーサイダー

第二次世界大戦後、東京復興のシンボルだった「トーキョーサイダー」。ガラス瓶やラベル、全糖・強炭酸の懐かしい味も当時のまま、オリジナルパッケージとして完全復刻した。

[丸源飲料工業株式会社]



105 山田家
本所七不思議人形焼

山田家の人形焼きは、新鮮な卵、北海道産小豆、レンゲ蜂蜜など上質素材だけを使い流してきつ。しっとり柔らかく自然な甘さが人気。すみだに伝わる怪談を集めた「本所七不思議」の包装紙は、創業時から使われている。

[株式会社山七食品]



112 みつよしのざる豆腐

自分が最高と思う大豆と製法で、最高の豆腐をつくりだした。幻の大豆といわれる「小糸在来」を使い、水にさらさない製法で甘みと香りを最大限に引きだしたざる豆腐。三善豆腐店は「キラキラ橋商店街」に店を構える。

[有限会社三善豆腐工房]



113 栗羊羹

「青柳」の味に満足された一條実孝公より「正家」の名を賜り「青柳正家」となる。透明感ある羊羹にたっぷりの栗。切り分けやすい栗と羊羹は同じ柔らかな仕上げる。伝え難く味と心を基本に、新しい和菓子の創造にも積極的だ。

[有限会社青柳正家]



114 やさしさびれる
ニッキ飴

はじめてなのになつかしい。しびれるけれどほのかにやさしい。創業以来、手づくり飴にこだわる宮川製菓。MILD、MEDIUM、STRONGと3段階の刺激を楽しめるニッキ飴は、味の濃淡を自在に変えられる職人の技から生まれた。

墨田区ものづくりコラボレーション事業2014開発商品
[宮川製菓]



106 言問団子

隅田川ほとりの茶屋の団子が歌人在原素平の歌になみ言問団子と名づけられたのは明治元年。串にささないシンプルな団子は、今の時代にもモダンで美しくある。

[株式会社言問]



107 志満ん草餅

生ヨモギを使っているから季節によって味がかわる。春のヨモギは柔らかく、夏は草の香りが濃い。歌から冬は食物繊維の食感を楽しむ。文人墨客が頼んだらほろ苦いおしさ。

[株式会社鈴木製菓]



108 長命寺桜もち

江戸中期、墨堤の桜葉を塩漬にしてもちをくるんだのがはじまり。江戸の昔から初詣、花見などに訪れた見物客に大人気。葉の香りとこし餡の上品な甘さが絶妙のパランス。

[株式会社やまもと]



隅田川沿いの団子屋 (明治初期)

すみだものづくり百科 [3]

【菓子】江戸の昔から観光客の多かったすみだには、手みやげに喜ばれる和菓子が目白押し。おいしい手づくりケーキのあるカフェも人気だ。

【飲料】明治時代には食の西洋化に伴い、ビール、ラムネ、サイダーなどがいち早く製造された。

【和食】伝統の味を守りぬく老舗が多い。新しい感性で創作する居酒屋や蕎麦屋もふえている。

【洋食】文人墨客に愛されたすみだには老舗洋食店が点在。新しくできた人気店も、なつかしく温かい雰囲気大切にしている。